

平成 27 年 10 月新発田市教育委員会定例会会議録

議事日程

平成 27 年 10 月 1 日（木曜日） 午前 9 時 00 分 開 会
豊浦庁舎 2 階教育委員会会議室

日程第 1 会議録署名委員の指名について

日程第 2 前回定例会会議録の承認について

日程第 3 教育長職務報告

日程第 4 その他

会議に付した事件

議事日程に同じ

出席委員

大 山 康 一 委 員（教育長）

関 川 直 委 員（教育長職務代理者）

外 山 陽 子 委 員

桑 原 ヒサ子 委 員

笠 原 恭 子 委 員

説明のため出席した者

教育総務課長 杉 本 茂 樹

教育総務課長補佐 大 森 雅 夫

学校教育課長 澁 谷 一 男

文化行政課長 田 中 耕 作

図書館長 鈴 木 秋 彦

中央公民館長 伊藤英策

青少年健全育成センター所長（兼児童センター所長）

本間栄一

書記

教育総務課学事係長

古田祐三

教育総務課学事係主任

平山広子

資料確認

大山教育長

それでは、ただ今から教育委員会平成27年10月定例会を開会いたします。

はじめに、本日の議事について、追加がございましたので、お手元に配布した提出書に差し替えをお願いいたします。

日程第4「その他」の中に、(1)「平成26年度いじめ再調査に基づく重大事案について(報告)」を追加させていただきましたので、よろしくをお願いいたします。

日程第1 会議録署名委員の指名について

大山教育長

日程第1 会議録署名委員の指名についてであります。関川教育長職務代理者を指名いたします。

大山教育長

日程第2 前回定例会会議録の承認についてお諮りいたします。すでに送付してあります会議録について、質問等ございますか。

大山教育長

なければ、承認の方の挙手をお願いいたします。

大山教育長

挙手多数でありますので、前回定例会会議録は承認されました。

大山教育長

日程第3 教育長職務報告を行います。

職務報告については、既に送付してあります「平成27年教育長職務報告(8月24日～9月17日分)」によりご了承願います。

なお、教育委員会所管事業の今年度第2四半期時点での進捗状況については、既に送付してあります「平成27年度教育委員会主な事務事業進捗状況(第2四半期)」によりご了承願います。

大山教育長

何か質問等ございますか。

大山教育長

ないようですので教育長職務報告については承認することとしてよろしいでしょうか。

大山教育長

異議がないようですので、教育長職務報告は承認されました。

大山教育長

続きまして、日程第4 その他に入ります。

はじめに、「(1)平成26年度いじめ再調査に基づく重大事態についての報告」を審議します。

お諮りします。この報告内容につきましては、個人情報が含まれており、個人の権利利益を害するおそれがありますことから、新発田市教育委員会会議規則第6条第1項第3号の規定に基づき、当議事は非公開としたいと思います。

当議事を非公開とすることに賛成の方の挙手をお願いいたします。

大山教育長

挙手全員でありますので、当議事は非公開とすることとします。

【 審 議 】

(新発田市教育委員会会議規則第15条第3項の規定に基づき、審議内容は記録なし)

大山教育長

審議は終わりましたので、会議は再び公開することとします。

大山教育長

日程第4「その他(2)平成27年度新発田市議会9月定例会の報告について」を審議します。杉本教育総務課長から説明をお願いします。

【杉本教育総務課長説明】

大山教育長

この件につきまして、ご意見、ご質問はございますか。

桑原委員

感想なのですが、全学校の始業日を新発田まつり以降に調整したらどうかという一般質問についての市長答弁のところで、「政治が介入しない、教育の現場に任せたい」というご発言を聞いて、教育委員会は頑張らなければいけないと気持ちが引き締まったところです。ところで、学校の休みの日というのは校長が決めるのでしょうか。お祭りの日を休みにするかどうかというのは別の問題ですが、参加しても良いのではないのでしょうか。新発田の伝統文化を体験する場という形で教育の中にテーマを組み込むのも良いのではないかと思います。

大山教育長

実態としては、市内の小中学校は、始業が9月に入ってからだと思いますので、新発田まつりの期間は夏休み中になっています。第一中学校は始業が8月25日くらいでしたか。

澁谷学校教育課長

中学校はすべて8月26日から28日にかけての間が始業日です。第一中学校はお祭りの中心的な地域に関わっていることから、お祭りの期間は午前中のみ授業を行って、給食を食べて放課として、お祭りに参加しやすいように工夫しております。

桑原教育委員

お祭りには個人的に参加するのではなくて、児童生徒が何らかの形で全員参加するという、見る側ではなくて主体の形で一回参加するというのもよろしいのではないのでしょうか。

外山委員

各町内会では小学生が参加する新発田の伝統的な金魚台輪の行事があります。参加した子どもには菓子等を手当しています。保護者がついて町内を回ると、諏訪神社まで曳いていくのと2パターンがあります。笠原委員さんは、その金魚台輪に付き添って町を練り歩いたご経験がおありですね。

桑原委員

わかりました。学校単位ではなくて町内単位で参加しているということですね。

大山教育長

例えば、学校行事という形ではないかもしれませんが、まつりパレードに外ヶ輪小学校が神輿を出して参加するということはあります。太鼓の方はどうなっているのでしょうか。

外山委員

安兵衛太鼓は参加しております。

大山教育長

一般質問をした議員の主旨は、小中学生を台輪に参加させたいということのようです。そうなりますと、夜の台輪は飲酒等の問題があり、教育上よろしくない場面も見受けられますので、参加を奨励するのはいかなものかと思います。朝の奉納台輪というのは、今までは中高生が気軽に体験して参加できるということがありましたが、今年、事故を起こしてしまいまして、少し子どもたちの参加は困難な状況になってきています。子どもたちの安全が第一でなければ、こちらとしては参加を奨励することは難しくなります。あるいは、子ども専用の台輪というものもございますので、台輪連絡協議会等がお祭りを通じて地域の伝統文化を伝えていきたいということであれば、そういったものを活用するののも一つの形だと思います。

桑原委員

以前に、大人の台輪を曳く地元の人がどんどん少なくなっているとお聞きしたことがあります。子どもの頃から子ども用の台輪に親しんで、徐々に将来に繋がっていくと良いと思います。

関川教育長職務代理者

祭りの期間中の学校の休業の関係ですが、確かに村上市は大祭の日を休みにして参加するという事を明確にしていますが、新発田市の場合は校長にお任せするしかないのが現状だと思います。

大山教育長

ありがとうございます。ほかになければ、私の方からお願いします。

気になる箇所があります。定例会報告7ページの放課後子ども教室に対する再答弁の中で、「放課後子ども教室の延長で中学生の居場所づくりができないか教育委員会と協議したい。」と市長が発言している箇所です。このことについては、私もまだ市長の真意をお聞きしたわけではありませんが、質問した議員は貧困家庭の件を質問しているのですが、市長が学習支援的なことをイメージされているのか、それとも、他の人は塾に行ったりしているのに自分だけ何もできない、行くところがないという意味での単なる居場所づくりを想定して言っているのかわからないのです。この後の総合教育会議の中で市長からお話で出るかもしれませんが、今、私が感じているところをお話させていただきたいと思います。

やはり、目的がはっきりしないと無駄な投資になる恐れがありますし、放課後子ども教室と言っても、開設場所の問題と、学校の管理外となるため、教えていただく方を別にお願ひしなければならぬため、かなりの予算を伴うこととなります。そのため、目的を決めて実施してみたら実態はそうではなかったということになると大変なこととなります。そこはよく確認をしていかななくてはなりません。また、中学校の校長に話を聞いても、市街地にある学校については塾や部活などがあるので、あまりそういったような需要を感じられないということ、放課後子ども教室を作ったらどうかとはっきり言った校長はおりませんでした。仮に実施するとしても学校ごとに行うのではなく、拠点施設として作るだけでも十分対応できるのではないかと考えております。これから駅前に複合施設ができますし、場合によっては、公民館等の学習室等で対応できるのではないかと考えております。最初から学校ごとに放課後子ども教室を設置するのではなく、拠点をいくつか作ってみて、もっとニーズがあるということであれば次の展開を検討したらどうかと考えております。この後の総合教育会議で市長からそういった話が出れば、少しお話してみようかなと思っております。ただし、その前にニーズ調査をなささいということになるとは思います。

桑原委員

貧困かどうかは別として、共稼ぎの家庭が非常に多いとか、片親の場合は親が働きに行かざるを得ないということですよね。そういった家庭の中学生は、放課後をどうするのかは問題です。塾に通えりとか部活動を懸命にやるとかという場合は良いですけれども、家に帰って一人きりになるとか、あるいは、友達と一緒に良から

ぬ方向へ行ってしまったりとか、居場所がないためにいろいろな問題が発生するかもしれません。その場合、今、教育長がおっしゃったように、学校ごとに作る必要はないと思います。拠点を作って居場所があれば良いと思います。

ドイツの場合ですと、放課後子ども教室の中高校生版のような場所を作っていることに驚きました。そこは勉強を行っていたかどうかはわからないのですが、放課後の時間を利用して、社会貢献として、ボランティア活動を行っていました。自分たちで何かを企画して、人を呼んだり、外に出て行ったりという感じでした。その中で、学校で勉強が遅れていて、自分はもう少し補習をしたいという人がいれば、やっても良いと思います。集まった人が全員で一つのことをする訳ではないので、選択肢がいくつかあって、拠点の中で人数に合わせて何かを提供できると良いと思うのです。勉強が嫌いな人は勉強をしないで体を動かす活動をして、人の役に立っているという充足感を感じるということも大切かと思います。

関川教育長職務代理者

学校訪問に行った際に、校長から子どもたちの自尊感情や自己肯定感が非常に低いという説明がありましたが、色々な事情によってそのパーセンテージが伸びていないと思うのです。それが貧困によるものなのか、家族関係の劣悪化によるものなのか、色々な原因が考えられるけれども、そうだとしたら、その状況に対して教育委員会としてはどのような手立てができるのかなと思います。貧困の問題と学習支援の問題と居場所づくりの問題は少しずつ違うのです。全部抱えている子どももいれば、部分的に該当している子どももいて、難しいなと感じています。今、桑原委員からご紹介があったようなことができればもっと良くなるのかなとも思いますが、なかなか焦点が絞りがきれいなですね。マンパワーを必要とするということは費用も発生するということですので、地方行政の中では苦しい課題だと思います。中学生の居場所づくりとは、実際は非常に難しいテーマです。ただ、放課後、校内に残って勉強することは保障されています。「いてはいけない」とは誰も言っていないませんが、「したくない」のです。「学校から早く出たい」「部活動も嫌だ」という子どもをどうするか、その子は貧困なのかということとそうでもないという場合が多く、色々なタイプの子もたちがいるわけですね。はっきりとした狙いを持つということが難しいのです。一つの目的で放課後子ども教室を作ろうとしてもなかなか難しいのかなと思います。先ほど教育長がおっしゃったように、駅前複合施設のスペースを有効活用するようなことが大事になってきます。市街地から離れた学校のニーズは何なのか、保護者を含めてよくニーズを調査して進めていかなければ、すぐには「こういうタイプで」という話はできないと思います。

桑原委員

学校に残って勉強できるという現在の状態ですが、それは教える立場の方もいらっしゃるということですか。

関川教育長職務代理者

それは図書室へ行って自主学習することが可能だということ。毎日毎日長い時間それができると言う、職員の勤務時間の問題もありますので対応時間は限られてきますが、放課後1～2時間勉強することは可能であるということです。

桑原委員

先ほどのお話のように、子どもたちはあまりしたがらないということですね。そういった自主学習ができるようになれば良いのでしょうか。

関川教育長職務代理者

勝負は授業にあるのです。「勉強したくなった」という子どもを育てることがベストなのです。そういう意識をどう醸成していくかということが大事ですので、学校を見て回った時に、この授業だとどうなるのかという目で見てみると、だんだんと見えてくるものがあると思います。子どもたちがやる気になってきている学校の子どもの授業態度は全然違うという印象があります。子どもを惹きつける、意欲的にさせる授業の中で、子どもたちから「勉強する部屋が欲しい」という話が出れば、対応する側も積極的になると思うのです。

桑原委員

今まで知らなかったことがわかるって面白いなということをお教へてもらえると
いうことですね。

関川教育長職務代理者

でも、今の子どもは押し並べて忙しいです。ドロップアウトしていった子どもたちはそうでもない場合もありますが、大抵の子どもたちは忙しいです。朝練習をし、授業を受け、放課後は部活動をして、家に帰って塾に行くという生活をしている子が
大勢います。本当に忙しいのです。

桑原委員

そうであるならば、いざ放課後子ども教室を開設しても、ほとんど子どもが来ないという事態もありますので、ニーズ調査というのは重要だと思います。

外山委員

今の子どもたちは二極化していると思います。忙しい子はやたらと忙しい。一方で集まってゲームなどしながら、一切外に出ないで怠惰に過ごす子たちもいる。

先日、中央公民館長に、ここに来る子どもたちはどの範囲から来ているか質問したところ、だいたい周辺の子であるとのことでした。遠くから公民館まで集まってくることは珍しいのです。つまり、距離というのが子どもたちにとっての判断基準になるわけです。ですから、駅前複合施設まで行く意欲的な子は、そこがなくてもやれる行動的な子であるわけです。そうでない半数近くの子をどうやって勉強したり興味を持ったり行動させることができるかというのも一つの考えですし、学校訪問をして実情を聞いてみると、愕然とした部分もあります。貧困な家庭の多い学校では、貧しい中でどれだけ勉強に対して意識が行くかということに学校が腐心されているということを知りました。そういう環境のところには、是非とも子どもたちが勉強に興味を持つような手立てを行わないといけな
いと感じてきました。

関川教育長職務代理者

学校訪問に行って、学校現場の困難な状況を聞いてきましたが、「だからどうなるのか」ということを私は聞きたかったのです。授業ではどういう点に注意をしているのか、学びの共同体という論理を持ち込んで行うことがどういったことに有効なのか、相互環境を高める上でコの字型に机を並べて四人一組で議論し合っただけだったり、学び合ったりしていく、そういう中で自尊感情が育てられているとか肯定感が高まったという評価はあるのか、どういう風に行っているのかなあと感じたわけですが。ただ現状を述べるだけでなく、こういう手立てを講じたら変化が生じたといった話がないと思いつながら聞いていました。そここのところが欲しいのです。そして、そこを市が手伝ってくれというのなら手を差し伸べることはできるのです。簡単に言えば学校では人が必要だという結論のようなのです。

外山委員

もう少し教員にゆとりが欲しい、また、放課後に勉強を指導してくれるような人が欲しいということなのだと思います。

関川教育長職務代理者

理念は立派なのです。例えば、隙間を作らないとか、子どもたちとラポート（親和的・共和的關係）を作るとかは本当に大事なことで是非続けてほしいと思います。さらにもう一步踏み込んだ話ができたなら教育委員会が訪問した意義があったという感想を持ちました。

外山委員

現状では精一杯の切ない状態で、一步が踏み出せないのですね。

大山教育長

ご意見ありがとうございました。
そのほかにありますか。

大山教育長

なければ、以上で本日の議事を終了します。
そのほか報告等ありますか。

鈴木図書館長

【駅前複合施設への引越しに伴う図書館の休館について連絡】

大山教育長

そのほかにありますか。

澁谷学校教育課長

【11月の同和教育研究会について連絡】

大山教育長

そのほかにありますか。

本間青少年健全育成センター所長（兼児童センター所長）

【平成 27 年度新潟県青少年の主張大会（新潟県大会）の結果の連絡】

大山教育長

そのほかにありますか。

田中文化行政課長

【五十公野館跡発掘調査の現地説明会・新発田城石垣シンポジウムの連絡】

大山教育長

そのほかにありますか。

伊藤中央公民館長

【市展・市民茶会・花嫁人形合唱コンクールの連絡】

大山教育長

そのほかにありますか。

大山教育長

ないようですので、教育委員会・今後の日程（予定）について、杉本教育総務課長から説明をお願いします。

【杉本教育総務課長説明】

大山教育長

説明が終わりました。何かご質問等ございますか。

大山教育長

そのほか何かございますか。

大山教育長

ないようですので、以上で、教育委員会平成 27 年 10 月定例会を閉会いたします。

午前 10 時 26 分 閉会

平成 年 月 日

新発田市教育委員会教育長

委 員